

麻生区区民会議 第11回安全・安心のまちづくり部会 議事要旨

1 開催日時：平成25年8月12日（月）午後3時00分～午後5時30分

2 開催場所：麻生区役所第4会議室

3 出席者：[安全・安心のまちづくり部会委員]

村主委員、高倉委員、高瀬委員、田中委員、長谷川委員、吉田委員

[事務局]

鈴木企画課課長、白石担当係長、佐伯、小田

4 傍聴者： なし

5 議 事

(1) 調査審議課題の具体的検討について

① モデル事業の応募状況について

(モデル事業の応募について)

【報告事項】

事務局より応募状況について説明。

- ・ 田中委員の関係のマンション居住者から応募があった（戸数は未確定）。耐震診断に関する問合せはあったが、ほかに応募は無い。

田中委員より補足説明。

- ・ マンション内には14戸の世帯で家具の固定がなされていないことがアンケート結果で分かっている。
- ・ 8/31に防災訓練があるため、その際にモデル事業について説明を行い、応募を募る予定。

他の委員からそれぞれ募集状況について説明。

- ・ 金光委員から紹介してもらった地区に部会長が電話で説明したが、結局、応募は難しいという回答だった。
- ・ 所属団体の活動や近隣へ、10戸単位のグループでなくても受け付け・検討することを伝えたが、応募は無い。
- ・ 地区内には新しい建物が多く、耐震性の取り組みができる住宅が少ない。
- ・ 活動で知り合った町内会の会長が、ご自分の町内会で募集のPRをして、チラシを回覧してくれた。古い住宅が多く耐震性への関心が高い。他の町内会ではがけ崩れへの懸念が大きく、それぞれの町内会で地域的な特徴がある。

(モデル事業の応募条件の緩和について)

部会長より現在の応募状況を踏まえ、〆切期限の延長・条件の緩和について提案があり、審議。

【主な意見】

- ・ 10 戸程度のグループに限定することなく、単独での応募も受け付ける方向性があるのでは。
- ・ 各委員による募集対応の継続と〆切期限の延長を考えて行きたい。戸建て住宅 1 軒ずつの応募でも受け付けていくことも検討したい。
- ・ 〆切期限を延長することで、区民会議フォーラムの場でも戸建て系に関する募集を PR できる
- ・ 区のホームページに掲載する内容については変更・公表することは可能。
- ・ 各委員が個別に声をかけて、候補者を出してもらう方向もあり得る。
- ・ 小地域のコミュニティ活性化につながる防災活動を進めたい。そのためには、ある程度まとまった地域でのモデル事業実施を目指すべきである。
- ・ 災害時に機能する地域を基本として公募することに意義がある。
- ・ やる気のある人を中心に防災意識を高めていくこと、中心となる人を育てていくことが大切。
- ・ 家具の転倒防止に絞れば、地域に拘る必要性はないと考える。

【決定事項】

- ・ 8/19 を一次〆切とし、マンション系として既に応募のあったマンションを第一候補とする。
- ・ 8/20 以降、戸建て住宅について追加募集を行い、10 戸のグループ応募要件を緩和して 1 戸からでも応募を受け付けることにする。
- ・ 各委員が主体的にモデル事業への応募候補者を募ることとし、1 人 1 件以上、応募につなげるよう努力する。

② モデル事業の実施内容についての検討事項 ⇒資料 1

1. 建築業者との打ち合わせについて

【説明事項】

部会長より 7/18 の建築業者との打ち合わせについて説明。

- ・ 明治大学 園田教授を監修者として、家具の転倒防止（固定）に関するモデル事業を実施する。
- ・ 建築業者からは今後の事業展開等に関して参考となることから、居住者へのアドバイス及び家具固定に関する施工等への参加についての協力を了解してもらった。
- ・ 作戦会議・事前説明・実施施工等についても協力いただけることになった。

【主な意見】

- ・ 家具固定に関する施工部分で業者の協力を受けることは可能であるが、業者の名前を出しての紹介・報告書・啓発用のパンフレット及び DVD への掲載は行政としてはできない。
- ・ 公平性を考慮して、特定の業者を区民に対して紹介することは区としては不可能である。
- ・ 明治大学 園田教授の活動に関する支援グループとの紹介ならば可能と考えている。
- ・ モデル事業へのアドバイス・支援活動等をしてもらう業者を、紹介すべきときに紹介しないということは失礼にあたるのではないか。
- ・ 予め、協力業者に区の考えを伝え、了承を得ておく必要がある。

【決定事項】

最終的な結論は出ず、次回部会により継続審議。

2. モデル事業に関する専門家の関わりについて

部会長より「家具転倒防止－経験交流サイト」の運営者（篠原氏）のモデル事業への参画について説明。

- ・ 個人的体験をベースに同様の経験や情報を収集し、家具固定器具の展示・講演等、実践的な活動をされている方で、モデル事業への参画を希望されている。
- ・ 事業の実施に関して支援に協力してくれる業者も承諾している。
- ・ 区民会議フォーラムにて、家具固定器具等の提示への協力も期待できる。

【決定事項】

最終的な結論は出ず、次回部会により継続審議。

(2) その他

次回、8月21日(水)10時から部会勉強会を開き、11:00から第12回部会を開催する。本日審議決定できなかった継続案件の審議を行う。(資料1 項目1以降について)

以上